

令和5年12月

伊東市議会12月定例会

一般質問要旨

伊東市議会

一 般 質 問 順 序

- 1 鈴 木 絢 子 君
(12月1日(金) 10時～10時50分)
- 2 井 戸 清 司 君
(12月1日(金) 11時～11時50分)
- 3 篠 原 峰 子 君
(12月1日(金) 13時～13時50分)
- 4 村 上 祥 平 君
(12月1日(金) 14時～14時50分)
- 5 大 川 勝 弘 君
(12月1日(金) 15時～15時50分)
- 6 虫 明 弘 雄 君
(12月4日(月) 10時～10時50分)
- 7 杉 本 憲 也 君
(12月4日(月) 11時～11時50分)
- 8 浅 田 良 弘 君
(12月4日(月) 13時～13時50分)
- 9 河 島 紀 美 恵 君
(12月4日(月) 14時～14時50分)
- 10 杉 本 一 彦 君
(12月4日(月) 15時～15時50分)

- 11 四 宮 和 彦 君
(12月5日(火) 10時～10時50分)
- 12 田 久 保 眞 紀 君
(12月5日(火) 11時～11時50分)
- 13 犬 飼 こ の り 君
(12月5日(火) 13時～13時50分)
- 14 重 岡 秀 子 君
(12月5日(火) 14時～14時50分)

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 絢 子

1 本市の不登校の現状とともに、令和5年3月に文部科学省が発表した「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」を受け、本市においてもさらに不登校対策に力を入れるべきと考え、以下2点伺う。

(1) 本市の小・中学校における不登校の現状について、以下3点伺う。

ア 不登校児童・生徒の令和3年度及び令和4年度の出現率について伺う。

イ 不登校児童・生徒について、令和5年度の人数を伺うとともに、過去5年間の推移について伺う。

ウ 令和3年度及び令和4年度における不登校傾向の児童・生徒数の状況について伺う。

(2) 本市の小・中学校における不登校対策について、以下2点伺う。

ア 現在、行っている不登校及び不登校傾向の児童・生徒に対する取組について伺う。

イ 不登校対策について、今後の課題及び展望を伺う。

2 消防庁の調査では、熱中症による令和5年5月から9月までの救急搬送人員は、平成20年の調査開始以降2番目に多いなど、近年の猛暑により熱中症のリスクが高まっていることから、本市の小・中学校における熱中症に関し、以下4点伺う。

(1) 学校内で熱中症と思われる症状により体調不良となった児童・生徒はどれくらいいたのか伺う。

(2) 特別教室への空調設備の設置状況及び今後の見通しについて伺う。

(3) 避難所ともなる小・中学校の体育館への大型扇風機の設置状況を伺うとともに、その他の空調設備の設置の見通しについて伺う。

(4) 社会体育施設である伊東市民体育センターの空調設備の設置状況を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 井 戸 清 司

- 1 宇佐美中央学園跡地の活用について、以下2点伺う。
 - (1) 宇佐美区から提出された要望に対する回答について伺う。

 - (2) 今後の跡地利用について、どのように考えているのか伺う。

- 2 税財源の積極的活用について、以下3点伺う。
 - (1) 多様な来遊客が訪れる観光地として、分煙を推進するために、市たばこ税を活用し市内各所に喫煙ブースを設置する考えについて、令和3年12月定例会の一般質問においても提案したが、2年前から検討は進んでいるのか、進捗状況について伺う。

 - (2) 入湯税について、超過課税を実施し、その財源を有効的に活用する考えはないか伺う。また、コロナ禍以前に行った関係団体との協議について、その内容及び進捗状況を併せて伺う。

 - (3) 生活環境向上対策費を増額する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

- 1 小学校及び中学校に入学する子供がいる家庭等に対しての入学祝金贈呈事業については、本市独自の子育て支援策の一つであり、入学時の子育て世帯の経済的負担の軽減を図る上で大きな支援となり得るものだが、厳しさを増す現在の経済的状況に鑑み、さらなる祝金の増額、あるいは中学校卒業時での卒業祝金支給の考えはないか伺う。

- 2 長寿祝金事業については、基準日である9月1日現在で、88歳、99歳を迎える方を対象に、長寿祝金を民生委員・児童委員の協力の下、9月の老人週間に届けているが、誕生日によっては対象となる年齢の誕生日を迎えて1年近く経過した後の受け取りとなる方がいることから、毎月の支給、または口座振込での支給にする考えはないか伺う。

- 3 本市では職場や学校で健診を受ける機会がないなどの16歳以上39歳以下の市民を対象に、39歳以下健康診査を行っている。実施の有無や内容については自治体によって違いがある中で、積極的にこの年代の健診を実施していることは評価するが、現在の内容に心電図検査についても項目に加える考えはないか伺う。

- 4 自転車利用者のヘルメット着用が本年4月1日から努力義務となったことを受け、全国各地でヘルメット購入の補助事業を行う自治体が増えた。本市においてもヘルメットの着用促進を図るため、自転車乗車用ヘルメットの購入に要する費用の一部を補助する取組を行う考えはないか伺う。

- 5 本市で現在行われている高齢者の移動支援事業は、運転ボランティア養成研修修了者や付添いボランティアが、認知症カフェなど市内で開催の交流の場を目的地として自宅と往復をする送迎に限られていることから、利用者からは「ついでに買い物にも寄りたい」との声がある。本市における高齢者の移動支援における現状と課題を伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 村 上 祥 平

- 1 本市の子育て世帯に対する経済支援策について、今後の拡充の方向性や計画について伺う。

- 2 本市の幼稚園及び保育所におけるサービス拡充の観点から、以下3点伺う。
 - (1) 本市の今年度当初における待機児童数はゼロ人であるが、年度途中で生まれた子供の場合は空き待ち等により入園できない状況が生じている。これにより、職場復帰や就職がかなわない保護者がおり、また、会社側も人手不足の状況の中で、従業員の復帰を待ち望んでいる状況もあることから、今後、本市において保育の受入れ箇所を増やす取組をしてはいかがか。

 - (2) 現在、本市の病児保育は「りんかい保育室」でのみ行っているが、より預けやすい体制とするためにも実施先を増やす考えはないか。

 - (3) 医療的ケアが必要な児童について、さくら園のほかに幼稚園や保育園でも積極的に受け入れていく考えはないか。

- 3 本市における防犯灯の運用について、以下2点伺う。
 - (1) 市内の防犯灯の設置状況を伺う。

 - (2) 電気料金の高騰により、各行政区など設置主体の負担が今後も増えることが予想されるが、本市としての助成や補助等の見通しを伺う。

- 4 本市の水産業をさらに振興するため、本市といとう漁協とが連携を図り、水産庁が推進している「海業」に取り組み、市場の活性化や民間活力の導入を検討してはいかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 大 川 勝 弘

- 1 本市及び本市の公的施設等におけるデジタル化及びデータ活用の取組について、以下4点伺う。
 - (1) 本市や観光関連のホームページについて、その内容、更新期間及び関連サイトとのリンクの状況について伺う。
 - (2) 観光推進目的や正確なデータ収集について伺う。
 - (3) アンケート結果や観光基本計画の内容について、民間企業や団体との情報共有や活用状況について伺う。
 - (4) 伊東市や県と連携したオープンデータの登録状況や今後の活用について伺う。

- 2 伊東駅前広場の整備計画の進捗状況について、以下2点伺う。
 - (1) 整備に向けたスケジュールについて伺う。
 - (2) 津波避難経路の確保や伊東駅の東西を結ぶ連絡通路の検討について伺う。

- 3 投票率向上に向けた本市の取組について、以下3点伺う。
 - (1) 期日前投票所を含めた投票所の見直しについて伺う。
 - (2) 市民の意見や要望を生かした選挙運動につなげるための情報共有について伺う。
 - (3) 伊東市議会議員選挙の選挙期日の見直しについて伺う。

- 4 学校統合に向けた中・長期計画とともに、それに併せた部活動、習い事の支援や遊び場の検討の必要性の観点から、以下6点伺う。
- (1) 今後の小・中学校の統合計画について伺う。
 - (2) 長期的な計画としての学校建て替えの予定について伺う。
 - (3) 部活動の地域移行の現状について伺う。
 - (4) 今後、学校の統合等の進捗により、部活動等の活動場所にも限りが出てくると予想されることから、子供たちへの活動支援として、小室山公園の市営テニスコート、伊東市民体育センター及び伊東市民運動場の使用料を優遇する措置について検討はできないか伺う。
 - (5) 体育館、スケートボード場及び陸上用グラウンドの建設について本市の考えを伺う。
 - (6) 小さい子供が使いやすく、乗用車を駐車できるスペースのある公園の建設や既存の公園の改修について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 虫 明 弘 雄

- 1 本市の観光資源である温泉の活用について、以下3点伺う。
 - (1) 新図書館建設予定地である旧マンダリンホテル跡地にある源泉の活用について伺う。

 - (2) 温泉を利活用するため、市営の温泉プールを建設してはいかがか。

 - (3) 本市にとって温泉は重要な観光資源であり、本市全体で守っていく必要があることから、官民が連携し協議していく必要があると考えるがいかがか。

- 2 多様な旅行者の観光動機に対応するためには、ニューツーリズムを担う官民連携組織が必要であると考えことから、以下2点伺う。
 - (1) 伊東版DMO設立に向けた課題を伺うとともに、設立された場合、観光関連事業者
に、どのようなメリット及びデメリットがあるか伺う。

 - (2) 本市における官民連携組織の設立に向けた検討状況を伺う。

3 本市における公共施設等の有効活用について、以下6点伺う。

- (1) 旧西小学校校舎や敷地等の活用方法について伺う。

- (2) 市が県から施設を借り受け、グラウンド等の学校施設開放を行っている旧県立伊東高校及び旧県立伊東高校城ヶ崎分校の今後の活用方法について伺う。

- (3) 新図書館完成後の現図書館が入る施設の活用方針について伺う。

- (4) 市役所1階市民ロビーの有効活用策として、民間事業者等が利用することについて本市の考えを伺う。

- (5) 遊休施設の有効活用に係る本市の考えを伺う。

- (6) 公共施設のさらなる有効活用を図るため、トライアル・サウンディングの手法の導入について、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 憲 也

1 伊東市議会令和5年6月定例会で議決された本市元職員が提訴した損害賠償請求事件の和解に関し、以下3点伺う。

(1) 被害者への解決金の支払状況を伺う。

(2) 本市では、国家賠償法に基づく職員への求償権行使の運用に関して明文化された基準を設けているのか伺う。

(3) 今回の場合、公正な行政事務の執行の観点から加害職員等に対し求償権を行使すべきであると考えるが、本件求償権行使に係る市長の考えを伺う。

2 本市の一時預かり保育事業に関し、以下3点伺う。

(1) 一時預かり保育の対象年齢を4月1日時点で満1歳としている根拠を伺う。

(2) 本市では、市長公約として子育て施策の充実を掲げるとともに、SDGsの推進により誰一人取り残さない行政の実現を目指していることを踏まえ、現在、一時預かり保育の対象年齢未満の世帯の当該事業を利用できないことにより生じている不利益やそれへの対応に関し、市長の見解を伺う。

(3) 他自治体では、一時預かり保育に対象年齢を設けていないケースや生後2か月から可能にするケースなど、当該サービス提供の重要性から本市よりも早い年齢から柔軟に一時預かりを可能としていることに鑑み、本市も早急に一時預かりの対象年齢を大きく引き下げて市民ニーズに応える必要があると考えるが、いかがか。

3 本市の道路等に関する行政に関し、以下2点伺う。

(1) 近年市内では、道路や歩道上の雑草のほか、道路隣接地の樹木の枝葉等が道路上や歩道にはみ出ていることにより、景観だけでなく安心・安全な通行に支障を来している状況が散見されるが、高齢化が進み、その維持を市民に委ねることが限界を迎える中で、観光地である本市の道路の安全性・快適性に向けた整備や維持管理に関し、本市の方針を伺う。

(2) 公道に設置されている夜間照明設備や街頭防犯カメラのうち、現在住民管理となっているものについて、設置時だけでなくその維持管理や撤去についても財政的に支援する必要があると考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

- 1 観光地間を直接結ぶ移動手段や、公共交通機関のない地域における市民の移動手段として、二次交通の導入が必要と考えるが、本市における二次交通の考え方及び実証実験等の具体的な取組について伺う。

- 2 公共施設におけるトイレについては、和式トイレが現存するが、施設利用者から、和式トイレの使用が困難との声上がる中で、洋式トイレの整備を求める要望もあることから、観光会館やコミュニティセンター等のトイレの洋式化について伺う。

- 3 環境保全を重視する中、防災対策面や観光地のイメージを損ねないことを目的とした河川の除草や、歩行者の障害になりかねない歩道等の雑草の除去について、本市における取組を伺うとともに、2級河川や県道等の除草について、その管理者である静岡県との事業連携の現状について伺う。

- 4 学校開放事業における体育館やグラウンド利用に関し、市民要望が多いことから、利用状況を伺うとともに、利用予約や駐車場の利用方法について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 河 島 紀 美 恵

1 著しい少子高齢化の進展と人口減少により、地域コミュニティーや多様な地域活動の維持、継承に不安を感じることから、次に掲げる各団体が抱える課題について、本市としてどのように捉え、どのような支援をしていくのか考えを伺う。

(1) 町内会

(2) 老人クラブ

(3) 市民活動団体

2 令和3年5月の災害対策基本法の一部改正により地方自治体の努力義務となった避難行動要支援者の個別避難計画作成の目的は、発災時における避難支援の実効性を確保することであるが、本市における計画作成の進捗状況について伺う。

3 子供を産み育てやすい環境づくりに向けた施策の一環として、乳幼児がいる家庭などに定期的に紙おむつやおしりふき等は無償で支給し、また、見守りを兼ねて配達を行う事業を展開している他市町の事例があるが、本市で導入する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

- 1 伊東国際観光温泉文化都市建設計画において、秩序ある町並みの形成を図ることを目的に建築物の高さが制限されていることは理解するが、時代背景の中、年々人口減少が進み、活力を失いつつある本市市街地において、改めて経済活動を活発化させるためには、この制限を見直し、現役世代等が求める高層分譲マンションまたは高層ホテルの建設等、民間企業が投資しやすい環境をつくり、市街地の再開発を進めるべきと考えるが、市長の考えを伺う。

- 2 天城霊園については、近年、市民の供養の在り方や墓地の管理等についての考え方が変化する中、利用ニーズが高くなっていると感じることから、以下3点伺う。
 - (1) 合葬式墓地の申込状況と今後の展望について伺う。

 - (2) 芝生墓所・普通墓所の現状と今後の整備等の方向性も含めた展望について伺う。

 - (3) 芝生墓所・普通墓所を希望する場合、その件数が多かった場合は抽選において選定しているが、行き場のない遺骨を持つ市民については対応を変えるべきと考えるがいかがか。

- 3 市庁舎8階の食堂については、職員や市役所を訪れる市民の昼食の場として設置されているにもかかわらず、近年休止状態が長く続いているが、これまでの経過と今後の展望について伺う。

4 小・中学校の給食費の無償化については、これまでも検討課題として議論をしてきたが、昨今、物価の高騰等により市民生活はますます厳しさを増している。このような厳しい時代であるからこそ、子育て世帯の支援及び子供たちが安心して教育を受けることのできる環境づくりを行政は常に心がけなければいけないと考えることから、来年度から段階的な給食費の無償化を実現する考えはないか、市長の考えを伺う。

5 本市小・中学校の給食の食材の仕入れ方について、事業者間の競争入札によるものでは食の安心・安全が担保できないと考える。近年、輪番制により納入業者を決定している自治体も増えてきていることから、本市においても価格競争から品質確保を重視し、輪番制により業者選定をすべきと考えるがいかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

1 本市におけるNPO法人への委託事業について、以下3点伺う。

(1) まちなかにぎわい創出事業について、以下2点伺う。

ア 同事業を市が直接実施せず、NPO法人へ委託して実施する意義について伺う。

イ 同事業内容である「I TO MARCHE」の主催者は伊東市、事業を受託するNPO法人のいずれであるか伺う。

(2) 令和5年10月29日の「I TO MARCHE」は、「サンデーキネマーケット」、「あんじん通りるんるんガラガラ抽選会と歩行者天国」と同日開催となったため、相乗効果もあって、周辺は大いににぎわったと言えるが、こうした商店会主催の民間事業に重ねて、ほぼ同趣旨のイベント事業を行政が開催することの公共サービスとしての意義について伺う。

(3) まちなかにぎわい創出事業を継続事業として、特定のNPO法人に委託することの妥当性について伺う。

2 本市における実行委員会形式での委託事業について、以下5点伺う。

(1) 令和5年度に実施した委託事業のうち、実行委員会に業務委託した事業の総数及びその内容について伺う。

- (2) 実行委員会形式で事業を実施するメリットについて伺う。

- (3) 実行委員会の組織・団体としての法的位置づけについて伺う。

- (4) 実行委員会形式で事業を実施する場合の行政と実行委員会との組織間関係について伺う。

- (5) 市または市職員が実行委員会の構成員となっている事例があるか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 田久保 眞 紀

- 1 (仮称)伊豆高原メガソーラーパーク発電所建設事業について、以下2点伺う。
 - (1) 令和4年9月の台風15号の影響で崩落したのり面及び土砂流出防止のための防災工事の現状について伺う。
 - (2) 経済産業省への「伊東市美しい景観等と太陽光発電設備設置事業との調和に関する条例」に対する条例違反事業としての報告の状況について伺う。

- 2 公共施設の老朽化による統廃合や更新に伴い、サウンディング型市場調査や民間提案制度の取組を本市でも導入する考えはないか伺う。

- 3 伊東市新図書館建設事業の今後の方針について、以下3点伺う。
 - (1) 設計を見直す旨が発表されたことから、その内容及びスケジュールを伺うとともに、再設計による建設費、維持管理費及び運営費の縮減見込みについて伺う。
 - (2) 市民要望にある分館構想やコミュニティセンター等での蔵書の予約資料の受渡しについて伺う。
 - (3) 再設計に際し、市民への説明会や意見交換の場を設ける考えがあるか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 犬 飼 このり

- 1 本市における動物愛護の取組について、以下3点伺う。
 - (1) 本市における犬猫の適正飼養に係る問題点及びその対策を伺う。
 - (2) 動物と人との共生を図るため、犬の飼い方教室の回数や対象などの範囲拡大を図る考えはないか伺う。
 - (3) 愛犬との散歩時に、近所の高齢者の見守りやごみ拾い等まちの見回りを併せて行う「わんわんパトロール」を導入する考えはないか伺う。
- 2 市民の政治参画について、以下2点伺う。
 - (1) 投票率低下の原因について、どのように捉えているか伺う。また、投票率を向上させるため、どのような対策を講じているか伺う。
 - (2) 本市の未来を担う児童・生徒を含めた若年層への主権者教育について、本市の考えを伺う。
- 3 本市におけるLGBTQに関する施策について、以下2点伺う。
 - (1) LGBTQ等性的マイノリティーに対する市民への正しい知識と理解を深めるために行った本市の啓発の取組を伺うとともに、「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」導入について、本市の考えを伺う。
 - (2) 現在、LGBTQ当事者の中でも特にトランスジェンダーに向けた差別発言が社会問題化しているが、国際観光温泉文化都市である本市においては、市民や市職員へのLGBTQの理解促進だけでなく、観光・宿泊施設等に従事する方への啓発や研修も必要であると思うが、本市の考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 伊東市民病院は地域医療振興協会を指定管理者として利用料金制により運営されている。そのメリットはあると考えるが、市民にとってよりよい病院にしていくための課題が見えにくいという側面もあることから、改めてその運営形態と運営の現状について、以下4点伺う。

(1) 利用料金制に移行した経緯と理由について伺う。

(2) 伊東市民病院の収支状況はどのような場で報告され、本市に情報共有されているか伺う。

(3) 全国的に看護師不足が問題になっているが、本市における看護師確保はどのように行われているか伺う。また、医療従事者確保対策事業では看護師確保のためにどのように医療施設設置等基金が活用されているか伺う。

(4) 伊東市民病院で行っている無料低額診療事業の活用状況について伺う。

2 新図書館建設事業について、以下3点伺う。

(1) 入札が不調となる中、廃校となった旧西小学校校舎等を活用する案が市民から浮上しているが、現在の計画と様々な角度から比較し、検討する考えはないか伺う。

(2) 新図書館が完成するまでの間に、各コミュニティセンターの図書室を図書館の分館となるよう市民ボランティア等の協力も得て整備し、新図書館完成後には図書を受け渡せる窓口に発展させていく考えはないか伺う。

(3) 建設推進をめぐる検討と同時に、新図書館機能充実のため、郷土の自然・歴史に関わる団体及び読書バリアフリー法に基づいて障がい者団体などとの連携を深め、懇談会や公開できる資料の収集、整理などもしていく必要があると考えるがいかがか。